

記録的な猛暑が続く今年の夏。しかし「熱中症になっては一大事」と冷房の利いた部屋でじっとしてばかりでは体に悪いし、つまらない。ならば思い切って北海道の旅はいかがだろう。中でもオスメなのが道東。釧路―根室間を結ぶ花咲線の車窓から雄大な自然を眺め、牧歌的な風景の中にひっそりとたたずむ「幸福駅」で運気をアップ。さらに、釧路で新鮮な北の魚介類を満喫する。夏の道東は、夏バテ気味の人が英気を養うのにはもってこいのヒーリングエリアだ。(小野田 寛)



幸福駅での運気アップを呼びかける、とかち青空レディの金谷美来さん

ウマい!! 楽しい!! 美しい!!

愛の聖地「幸福駅」

帯広

シラカバ林を抜けるさ
らっとした風が爽やかな
十勝の中心地、帯広。目

の前に広がる酪農地の青々とした緑が目にも涼しい。そこにあるのが、恋人たちが愛を深める聖地として熱気を帯びる「幸福駅」だ。鉄道では行けない。JR帯広駅前から十勝バスの「広尾」行きに乗って約45分。「幸福」で下車する。旧国鉄・広尾線の駅として1987年2月まで稼働。廃線後は、その名前の縁起の良さから幸せを呼ぶパワースポットとして愛され、多い日には1000人を超える観光客が訪れるようになった。残された駅舎には、幸せを願う夫婦やカップルの名刺が所狭しと貼り付けられ、その中にはインバウンドの人々のものも少なくない。

帯広から、特急スーパーおおぞらに乗

って約1時間40分で釧路だ。気温は夏場でも東京より10〜15度は低く、釧路湿原でのトレッキングや釧路川の川下りなど、雄大な自然との触れ合いにリフレッシュを求めに来る人も多い。同地を訪れたならば、釧路港に水揚げされた北海の幸を食わずには帰れない。港の岸壁で営業する「MOO 岸壁炉ばた」(☎0154・23・0600)では、炭火でじっくりと焼いた地元の新鮮な魚介類が楽しめる。その香ばしい味わいに、ビールのおいしさも倍増だ。